



Jozankei art ennichi 2008
定山溪アート縁日

定山溪 アート縁日 2008

このイベントは、10月5日～13日の9日間、定山溪温泉を舞台に開催されました。南区で、1つのイベントに2つの大学が参加するのは今回が初めて。大学の持つ特色や過去の地域参加の経験を生かしたまちづくり活動が開かれました。



～定山溪まちづくりセンター3階旧消防宿舍～



～旧定山溪温泉観光案内所～

▲作品を展示する大学生たち



▲使われなくなった部屋そのものをデザインする札幌市立大学の学生たち



▲空き店舗だったとは思えない外観と店舗内の陶芸・木彫りギャラリー!



空き空間の活用

札幌市立大学デザイン学部
の山田ゼミの学生らが、大学
で学んでいる空間デザインの
知識を生かし、国道230号沿線
の空き家や空き店舗などを
「アート空間」として再生し
たり、地域の魅力を再発見し
たりしようと「定山溪アート
縁日」を企画しました。

建物内を清掃後、片付けられ
ない大きな物や固定された物
は半透明のプラスチック板で
囲い、スポットライトなどの
照明器具を効果的に配置して
仮設ギャラリーへと改装。「地
元の陶芸家や木彫り作家の作
品展示」や「写真展」を開催
して、芸術を身近に感じられ
る拠点を作り出しました。ま
た、「旧定山溪温泉観光案内
所」には、大学生と地域住民、
旅館・ホテル関係者がデザイ
ンした小さな紙型の浴衣を展
示したり、地元で活動する
「山野草の会」の写真展を行
ったりして、地域住民らが気
軽に出入りできる空間へと変
身させました。そのほか、定
山溪まちづくりセンターに隣
接する「旧消防宿舍」では、
同大学の学生が部屋そのもの
をアート作品に仕上げて、長
い間利用されなかった建物に
新しい息吹を吹き込みました。

十数個設置し、幻想的な「あ
かりの空間」を演出。同大学
の山田ゼミが新たな観光資源
を発掘しようと、身近な資源
(豊平川)に着目しました。

灯籠の設置作業では、地域
住民のほか、定山溪温泉の次
代の担い手の古川さんや金川
さん、東海大学の学生も加わ
り、定山溪まちづくりセンタ
ーから二見公園まで軽トラッ
クで、さらに河原までは人海
戦術で運び出して設置。3日
間に渡り、毎夕、十数個の灯
籠の設置と撤去を繰り返して
行きました。

水辺に灯籠

二見公園付近の豊平川河畔
には、10月10日～12日の夕方
半透明のプラスチック板をポ
ルトで固定して作った灯籠を

▼豊平川に灯籠を設置する大学生と金川さん

